

平成22年度 第4回新城市市政モニターアンケート調査結果

アンケート実施期間 平成23年2月1日（火）～2月15日（火）

回収率 100%（100人／100人中）

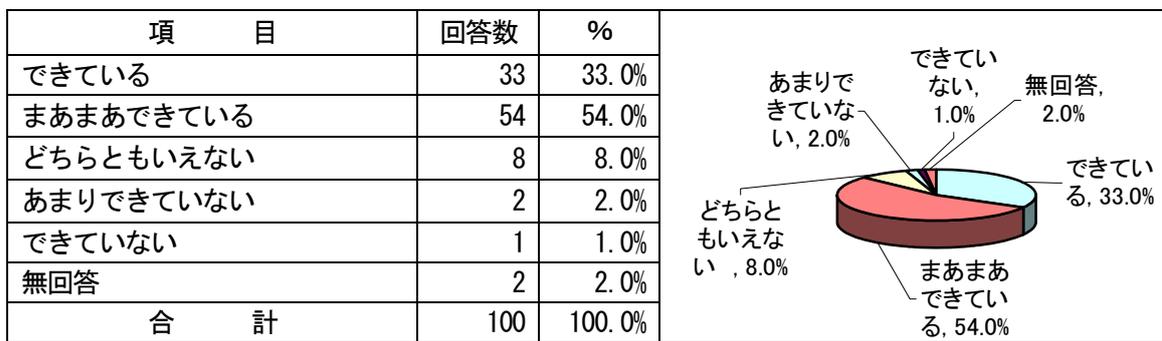
（%は小数点第2以下を四捨五入してあるため、合計が100%にならない場合があります。）

テーマ1 市職員の対応について

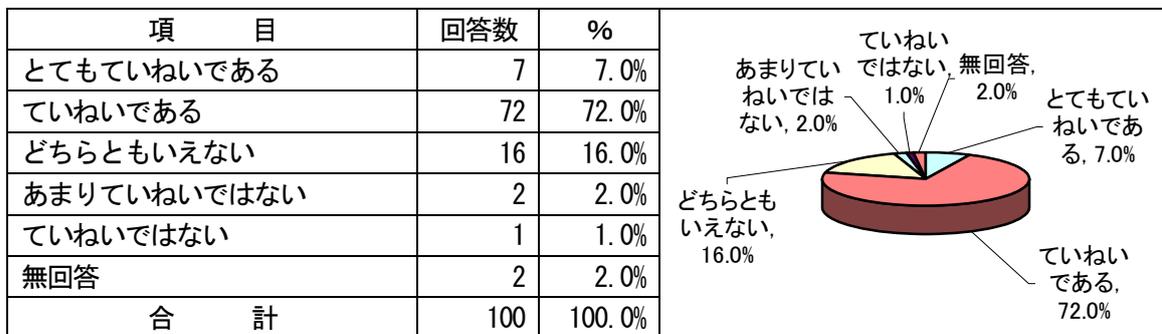
市職員は、市民の立場に立って考え、親切な対応と笑顔で接することを心がけています。

Q1 市職員は、来庁する方々に対し、きちんとあいさつができていますか。

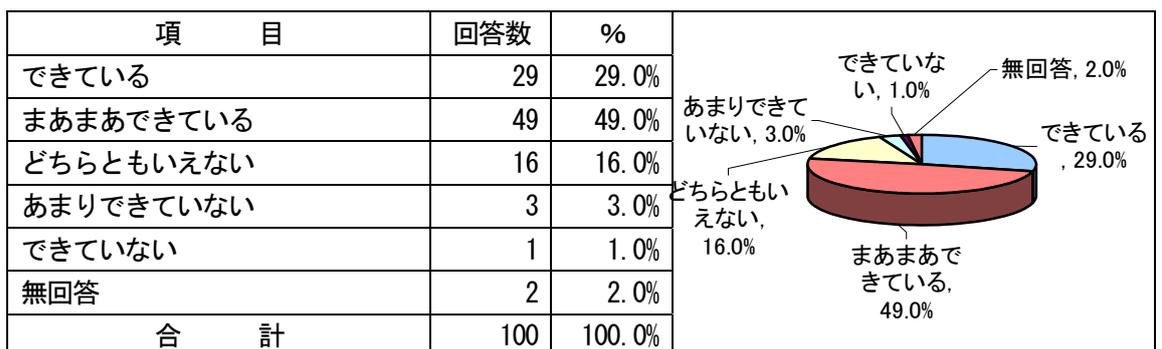
（1つ選択）



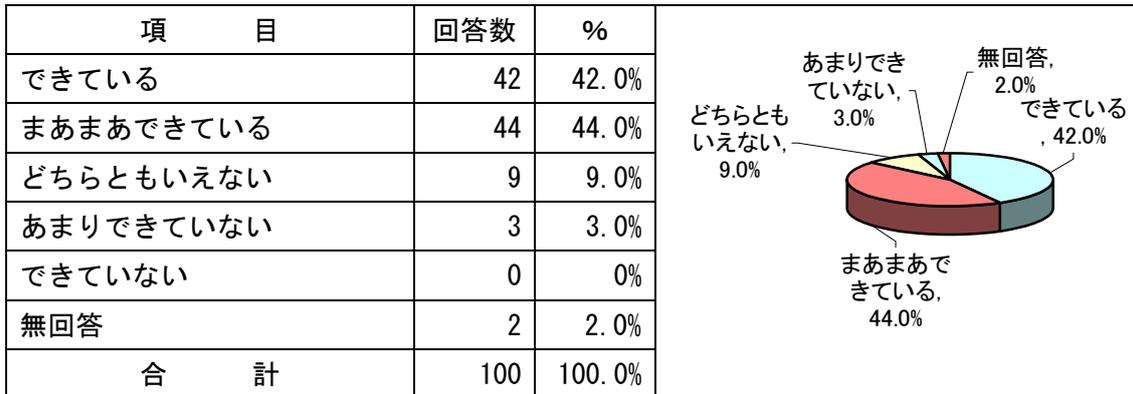
Q2 市職員の言葉づかいについて、どのように感じますか。（1つ選択）



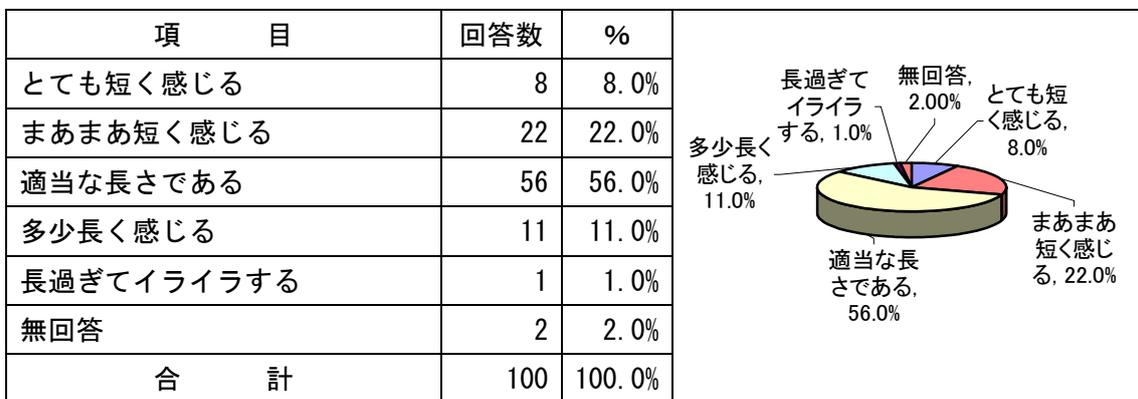
Q3 市職員は、親切でいい対応ができていますか。



Q4 市職員は、きちんとした身だしなみができていますか。



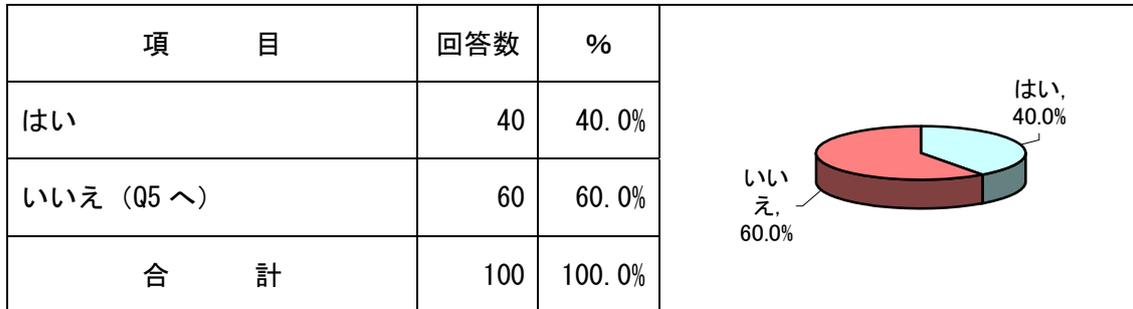
Q5 窓口における待ち時間について、どのように感じますか。



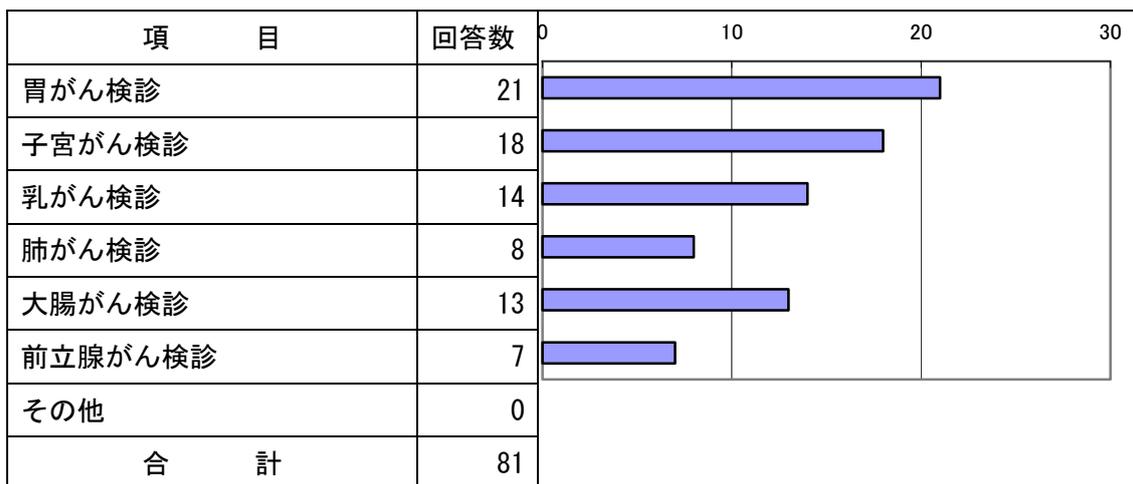
テーマ2 がん検診について

日本の死亡の原因で一番多いのが「がん」です。平成21年の全死亡者の3人に1人はがんで亡くなっています。そのため市ではがん検診を促進しています。

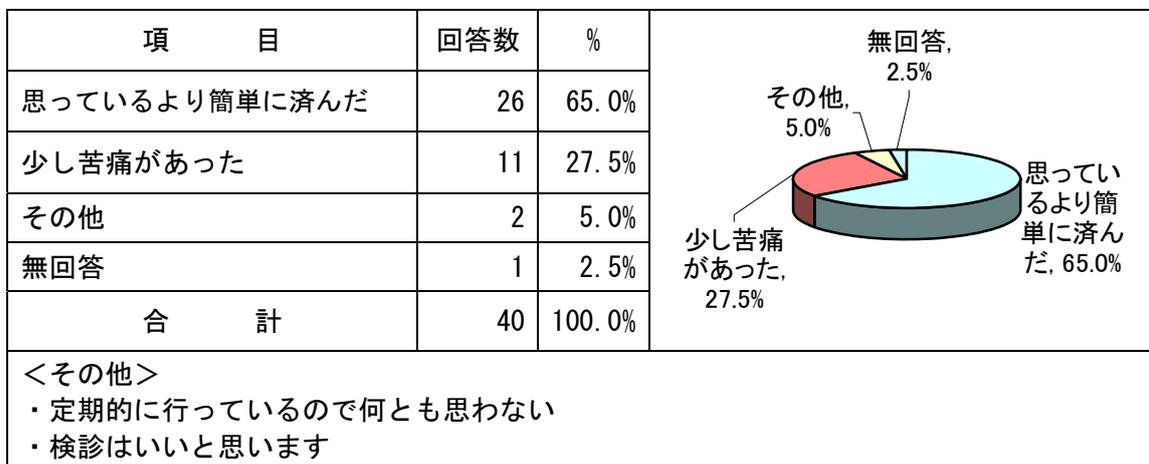
Q1 この1年間にがん検診を受けましたか。(1つ選択)



Q2 どのようながん検診を受けましたか。(いくつでも)

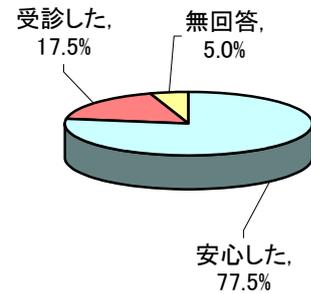


Q3 がん検診を受けてみての感想はどうですか。(1つ選択)



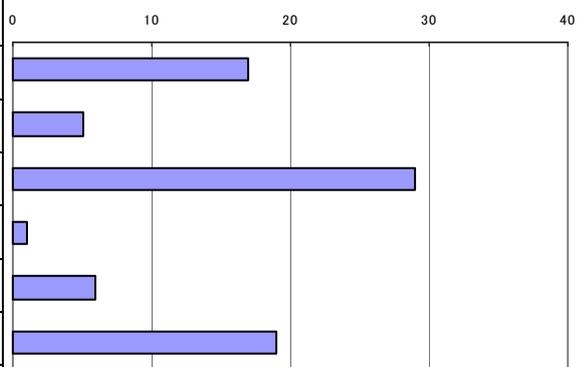
Q4 がん検診結果を受けてどうしましたか。(1つ選択)

項目	回答数	%
異常無しのため安心した	31	77.5%
要精密検査の通知を受けたため、医療機関へ受診した	7	17.5%
要精密検査の通知を受けたが、医療機関へは受診しなかった	0	0.0%
無回答	2	5.0%
合計	40	100.0%



Q5 がん検診を受けなかった理由は何ですか。(いくつでも)

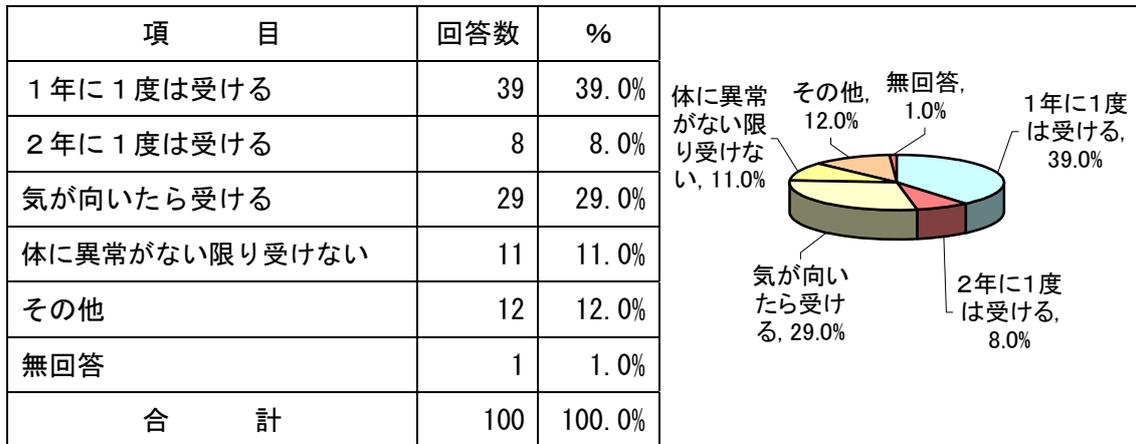
項目	回答数
忙しくて検診へ行く時間がない	17
検診に対して怖い気がする	5
現在、特に体に異常がない	29
結果が分かるのが怖い	1
面倒くさい	6
その他	19
合計	77



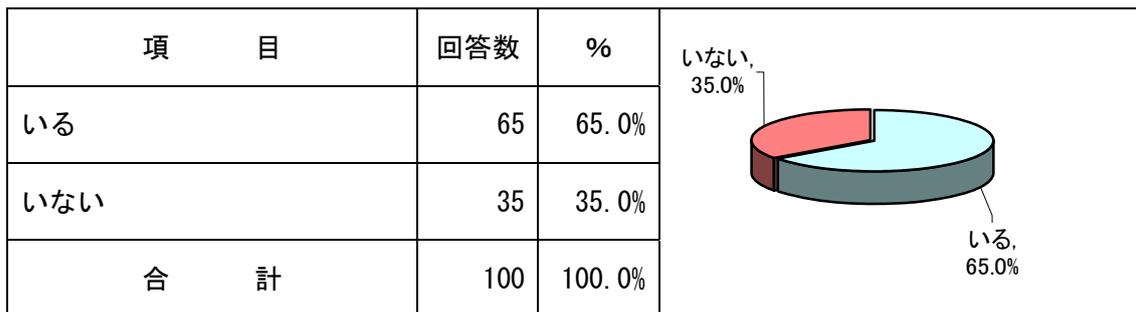
<その他>

- ・20歳以下なので
- ・2年くらい前に郵送がん検診を受けたため
- ・いつどのように検診を受けられるのか知らない
- ・がん検診は受けていないが、会社の健康診断を受診している。
- ・車に乗らないので、家族の都合を考えないといけないから
- ・健康診断で異常がなかったため
- ・検診が信用できない
- ・検診を受けて、気分の悪い思いをしたことがあるから
- ・出産のため
- ・近く行く予定
- ・どのような検診がいつ、どこで、どのくらいの金額でできるのか？よくわからない。
- ・どのように受け付けているのかわからない
- ・発見されても完治する医療が確立されていない
- ・費用がかかる。金銭的な問題
- ・他の病院で検診している
- ・まだ、大丈夫だと思っているから
- ・まだ若いから
- ・身内、友人の多くの人が、検診を受けていたのにガンで亡くなっているから
- ・受診したいが日曜日しか休みがないため受けられない。検診日があわない

Q6 皆さんにお聞きします。今後、がん検診を定期的に受けますか。(1つ選択)



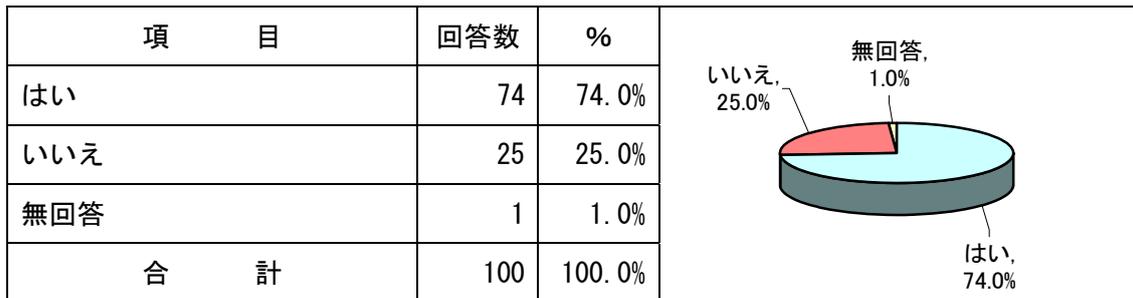
Q7 皆さんにお聞きします。がん検診に関係なくかかりつけ医はいますか。(1つ選択)



テーマ3 自治基本条例について

新城市が住みやすいまち・住み続けられるまちとなるための仕組み、市の憲法「自治基本条例」を制定するにあたり、「まちづくり大茶話会・しんしろ」やワークショップ、出前会議、現地視察など、4月から約11ヶ月間活動してきました。

Q1 市から提供した（広報「ほのか」、ホームページ、ツイッターなど）で自治基本条例に関する活動を知ることができましたか。（1つ選択）



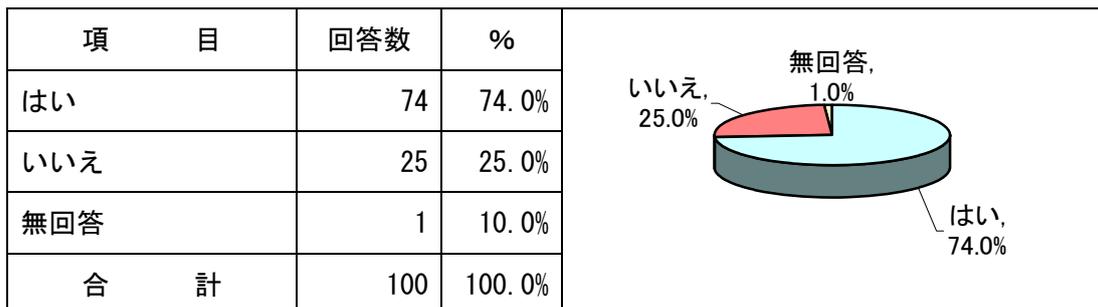
Q2 「いいえ」と回答された方にお聞きします。どうすれば、もっと市民の方に活動を周知できると思いますか。

- ・1番の伝達は組の寄り合い。この席で組長が話を出せば出席者には伝わる。ただ、組の寄り合いは年に2回程度しか行われない。
- ・あまり見ないから
- ・一家に一冊の「ほのか」を配るのではなく、個人にははがきサイズくらいで手紙のようにして、読みやすい見やすいものを配って見たらどうか
- ・関心がないから
- ・行政区長等、身近な人からの説明（説明はできなくても、市でこういう活動をしている等の連絡）
- ・広報、市のHP等は基本的に興味のある人しかみないと思う。自分自身も市政モニターに選ばれたことで、このような活動があることを知りました。このようなことを行っていけば、不特定多数の市民に周知してもらえるのではないかな？
- ・この様な活動していることをはじめて知りました。これを知っている人のほうが少ないと思います。周知のためには、活動の名称にインパクトを持たせ、やりたい事をイメージしやすいものにした方が良いと思います。
- ・市民が興味ひかれるような活動
- ・住みやすいまち、住み続けられるまちとなるための条例と書いてありますが、住みやすいまちといわれても、意味がばくぜんとしていて理解できない。まずは、住みやすいまちとはどんな町なのか、教えてほしい
- ・地区の集会で議題にしてもらおう
- ・パソコンを使用しない。「ほのか」にも興味深い記事がないので見ない。
- ・防災無線やティーズの地域番組などで活動報告を流したり、各地区の公民館での活動報告会を開く
- ・見たくなるようなホームページを作成する。何か難しそうなので、イラスト付きで説明するとか。
- ・みんな、気にしていることを中心とする
- ・皆に知ってもらえるために、もう少しPR方法を考えてはいいのではと思います。まちづくり大茶話会等行っていることをまったく知りませんでした。ご近所の方とか職場等、周りからの口コミも全くありませんでした。目に届くような回覧板・オフ

トーク等々

- ・無線放送で、十分過ぎるくらい放送する。
- ・やった、あった、だけでイマイチ内容が分からない。イベントを内々で楽しんだの？旅行気分？何の目的で何に直結して生かされるの？と疑問ばかり…
 実際、こんな風に成果が出ているとか、ここにいかしてます！という具体的なもの、ことを伝えてほしい
- ・よくわからないので。。。。
- ・読んでいる時間がないので、繰り返し情報を出す。
- ・若い人たちが興味をもてるような活動が少ないかなと思うので、そこを改善してほしい
- ・興味が無い時や忙しい時には、なかなかそのような情報を見ることが出来ないので、興味が湧いた時や、何か気になることがあった時に、ネット上などで検索しやすいような仕組みにさえなっていれば、問題ないと思う。
- ・市内放送を活用する。
- ・私はメールマガジン（PCへのメール）が助かる。
- ・書く文章にユーモラスをまじえて書いてほしい。カチカチの文章では、なかなか関心が持てない。
- ・日常生活でホームページを閲覧する機会がほとんどありません。また、「新城市」で検索した結果一覧から市役所のホームページを見つけにくいですし、ホームページ内で情報を探すのも面倒で、元々興味がある人でなければ情報を得られない状態だと思います。目立つところにトピックを掲示すると良いかもしれません。

Q3 新城市自治基本条例を考える市民会議の中で、一般市民の参加を呼びかけ、「まちづくり大茶話会・しんしろ」を始め多くの方が参加し、議論に加わっていただきました。今後も、市民の方に参加していただく説明会、意見交換会やワークショップなどを開催する予定ですが、今までと同じような呼びかけで適当と思いますか。（1つ選択）

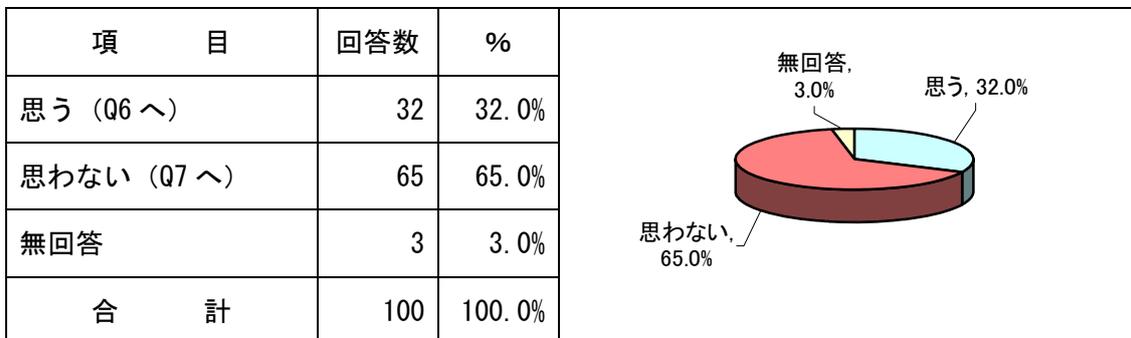


Q4 「いいえ」と回答された方にお聞きします。どうすれば、もっと市民が参加すると思いますか。

- ・ Q2 でも書きましたが、住みやすい町とは何か分からない
- ・ 各戸に届く回覧板、ほのか
- ・ 活動内容を具体的に示し、参加をお願いするような方法も一つの手では？
- ・ 関心がある人は知ろうとするし、参加もしますが多くの関心のない人は知らずにいるので、自治会の役員のように町内で数人とか、数年に1度は参加するというように半強制的にしないと多くの人に参加してもらうことは無理だと思います。いやいや参加したらよかったということが多いので・・・
- ・ 参加したことはありませんが、若者～お年寄りまで、幅広い世代の方に参加してもらうことができていたのか。勝手なイメージだと、年配の方しか参加していないように思います。若者も気軽に参加できる環境を作ったり、市民モニターアンケートのように誰でも意見を出せる機会を設けてほしいです。
- ・ 参加する人はするし、しない人はしないと思う
- ・ 市民が興味を持って参加できるように堅苦しくない様に、気軽に参加できる広報が必要だと思う。自分自身も参加しなかったのですが、理由は「会議」という言葉が少々簡単ではないような気持ちになったからです。
- ・ 正直、具体的には分かりませんが、実際に意見や視点がほしい分野ごとに人材の派遣を依頼する等、テーマごとに直接呼び込むことも必要かと思います。
- ・ 先日、防災センターでの説明会を聞きました。その後、議会の説明会もありましたが、出席者のメンバーがいつも決まった人たちばかりで、関心のある人、ない人の差がくっきりしています。もっと各部落の集会（総会、運動会、お寺の集会とか）きめ細かな情報を元にいろいろなところに出向いて説明しなければ、皆が知っている訳にならないと感じました。
- ・ 例えば、日時等分かっても参加できない人は多くいる。（参加したいけど）同じ募集だと同じ人が集まる。公民館等小さな集まりなら参加者が増える。地元により密着した行動が必要。
- ・ 小さい子どもがいると、外へ出られる時間帯が限られるため、午前で開催、午後で開催、夜開催などにわけてもらえると、出席しやすい。個人的には、夜は子どもの世話で外出しづらい。
- ・ 中核となって取り組んでいる人たちの顔が見えない。その人たちの理念や執念、熱意といったものが明らかになれば（所信表明の発表等）それに共鳴した人が集まり、自由な意見や（精神的な手助け、協力する人）が増えるのではなかろうか
- ・ 内容を含めた広報が必要。（例えば基本条例のどういう内容について話し合う）
- ・ 文化会館だけでなく、他地域でも行うといいと思います。名前が堅苦しいので柔らかい言葉、親しみやすいことばにするといいと思います。
- ・ ホームページや「ほのか」を見ない人も多いので、新聞の折り込みチラシに入れてみてはどうでしょうか？折り込みならより多くの方の目に留まり、参加される方も増えるのではと思います。
- ・ 他の企画とタイアップしたり、参加するんだという身構えた意識なくして参加できたり、短時間でいつでも意見が反映されるような形や方法が考えられるとよいと思う
- ・ もっと小さな単位でないと参加しづらい
- ・ やっていることを知らなかった
- ・ 参加してくれた人だけでなく、参加できなかった人、参加しなかった人たちへどう伝えていくのかという視点で考えてもらいたい。紙媒体、メディア、ウェブなど様々な告知。告知だけでなく、どんなことが議論されたのか？どんな結論がえられたのか？主催した人たちの感想などもお伝えいただける媒体があったらうれしいです。私が知らないだけなのかもしれませんが。
- ・ 市民の話し合いの内容に対して回答を発信していくべきだと思う。
市民と双方向のコミュニケーションが取れないようでは、場を作って「市民の声を聞いています」というアピールにしか感じられない。

- ・事業所経由で参加を促してほしい。（社長や人事部と折衝して欲しい）。
- ・自分や自分の家族、仕事のことで精一杯の人が多と思います。各個人の生活に深く関わることをもっと強く主張すれば、関心を持つ人が増えてくると思います。また、定年退職された方に声を掛けると参加者を増やすことができると思います。60～70代で心身共に元気な人は沢山おられます。
- ・他県から引っ越ししてきて今は、特に地域と交流がないので、わからない。子供が大きくなれば、少し地域との接点ができるので、考えるかもしれない。
- ・知らないうちに終わってたって感じが多いと思う。広報無線があるけど、話し方も暗くて聞きづらい。高齢の祖父母は何言ってるか聞き取れないときがあるとよく言う

Q5 皆さんにお聞きします。あなたは、自治基本条例の制定に参加したいと思いますか。（1つ選択）



Q6 「思う」と回答された方にお聞きします。その理由をお書きください。

- ・3月4日東新町であります。都合がつけば参加したいと思います
- ・以前、中東で日本人がらちされました。そのときに、自己責任という言葉が盛んに使用されました。自分の身は、自分が守ると云われておりました。やはり、自治ということは、身に回りの行動について責任があると云うことなので、少しでも住みやすい場所作りにもこの自治条例の制定には参加する意義があると思っています。
- ・基本条例で市の何がどう変わるのか。個人の生活にプラスがあるのか。
- ・これからも、この地に住んでいこうと思うから。
- ・参加することに意義があります。
- ・参加する魅力がない。
- ・市政は私たちの生活に連結している。
- ・自分の住んでいる所をよくしていきたい
- ・自分の町だから
- ・市民の声が反映されるため
- ・市民生活が少しでもより快適となるのなら・・・
- ・住人としてもそうだが、職業的にも上手く関わることができれば、と感じるため。
- ・庶民の意見をより反映することができると思うため
- ・新城市をもっと良くしたいと思うので
- ・すでに、市民自治基本条例の市民委員にさせて頂いている。
- ・たくさんの人達と話しができ、視野を広められたらいいと思う。時間がなかなか合わないのが残念です。
- ・地域で何が必要か、どのようなかわりが必要かを学びたいし、参画したいと思っています
- ・どんな事をやっているか体験し、知り見届けたい。

- ・まちづくりのために、みんなで力をあわせたいので
- ・民主主義の基本となる地方自治に一般市民として参加できることに意味があると感じるから
- ・よりよくなるなら、よく話し合いもする機会も増えてよいと思う。問題点も多いと思うが、考慮に考慮を重ね、努力することが出来ると思うから。
- ・老後になってもこの市に住み続けたいので。幅広く、あらゆる角度からの意見を知りたいので
- ・今の新城を良くするためには市民が自ら進んで市の為に動かななくてはならないと思うからです。
- ・昨日もタウンミーティングに行ってきましたが。議員に対しての質問が集中して本題から脱線してばかりだった。本当に個人的な事しか言えない市民に私はなりたくないの、的を得た質問、提案を一市民みんなが発言できる様に勉強の意味を込めて参加したい。
- ・市に関することはすべて、すべての市民が参加し、決定すべきだと思います
- ・市民としての義務と権利を確認できる
- ・市民としての責務かな
- ・自らのまちは自らつくりあげてゆきたいから。
- ・新城の町が少しでも住みやすくのは歓迎ですし、他の市町村の人々が新城に良いイメージを持ってもらえる様な町にしたいと思うから。
- ・政治が一部の人間主導では、もたなくなってきたから。
- ・大勢の市民の意見が少しでも反映されればよいと思います。
- ・地域に住む人たちのコミュニティがこの地区にはないようです。待っていても何も始まらないので、自分から積極的に働きかけていきたいと思っても、何からどこから始めるのか見当すら付かない現状に少々苛立ちを感じる今日この頃。

Q7「思わない」と回答された方にお聞きします。その理由をお書きください。

- ・2人の子どもがまだ小さいため
- ・忙しくてあまり出席できそうにないため。アンケートへの回答や、条例制定のための住民投票という形であれば参加したい。
- ・今のところ関心がない
- ・今のやり方ですすめてもらって、もし関われるところがあれば考えます。
- ・今は、子育てで、出産したばかりで忙しいため
- ・今は子どもが小さいので、見てくれる人がいればよいが、なかなかそこまでして参加するより、関心がある人でまとめていただいたほうが意義あると思うので
- ・今は仕事が忙しいし、土日でも行事などが入っていて参加できないから
- ・今までは内容が漠然としておりすぎて市行政任せの会議になると思われるため
- ・いろいろな人の意見を聞くのもいい
- ・思うように参加したくても、仕事との調整がつけずらくて、とても残念であります
- ・会社に行っているため、休みがないため
- ・堅苦しいイメージがある。市議会委員や市職員OB、市政に興味のある年配の方しか参加していないような感じがして行く気になれない
- ・興味がないから
- ・議論の内容についていけるか不安だから
- ・グローバル化等で、日本の国際競争力が落ち、国が地方や庶民へ廻す金をカットしていることが最大の原因と思う。地方が条例を作っても効果は期待できない。アメリカで黒人の大統領が誕生し、民主党の政権交代が実現したりしたが、変化はなさそうである。我々老人は、国や市の助けをあてにせず、各人が自由な立場で、格差の向上、就職や学習に努力しなければならぬ時代だと思っている。
- ・現在では、内容及び条例に何を目的（行いたい事）がわからない。（広報不足）
- ・コストカットが優先されるべき

- ・参加してみないと分かりませんが、自分に有意義かどうか疑問
- ・参加しても良いが、子どもが小さくて行けない。忙しくて行けない。他の人が決めてくれるからいいや、という思いも正直なところある。
- ・参加する時間がないです
- ・仕事があり、思うように参加できない
- ・仕事でいっぱい。昨年、多額の税金支払い大変だから
- ・自治基本条例ができたところで大きな成果がでるとは思えない。市民病院再生、人口増、企業誘致、税収増、公共サービスの充実、どうせ出来ないんだから。みんな思ってる。どうせ出来ないって。
- ・条例や規則等、形を整えるよりも先に実行できることを行動で示していく活動優先を市職員、議員等が先導していくほうが現実的であると思う
- ・知りたいと思うが、特にメリットがないので、わざわざでかけようとは思わないから
- ・住みやすい町になるとは思えない
- ・住みやすい町のための仕組みといわれるが、本当に住みやすい町であれば、そもそも条例は必要ないと思います。
- ・制定をするということは、ある程度自分の発言に責任を持たないといけないと云う事で、そのことが、将来市民の為になるのか自信がないから。
- ・第1に分らないのが原因。自分達にどう降りかかってくるのかわからない。
- ・小さい子どもがいるので、なかなか参加は難しい。アンケートなどで、意思表示していく方が自分にはあっている
- ・テーマが大きすぎて漠然としている気がする。私は「エアロビクスの会」に入って活動していますが、今、「運動する会場が少ない」などいろいろな意見が出ています。そのような少人数の中から生まれる意見を持ち出して、専門的な方の意見を聞ける場を提供してもらいたいと思います。小さな声も大事にしてほしいのです。そして、住みよい新城に一步でも前進できたらすばらしいと思う
- ・どういう形で参加すればいいのかわかりません
- ・特にはない
- ・なかなか自分から進んではいけないのが本心。多少の強制力があれば参加しやすいのですが
- ・流れがきまっているように感じるから
- ・年齢、体力的にも。記憶力も弱くなったので。
- ・日頃関心を持っていない為、自分の意見を強く持っていません。今現在、子育てや仕事で手いっぱい、そのほかに目を向ける余裕がありません
- ・まだ自分自身が新城市に馴染みが持てない。人付き合いが難しいところだと感じるから。条例の制定などの活動に参加しづらい
- ・まだ具体的な内容については理解していませんし、その成り行きによっては制定に反対する可能性もあると自認しています。地域自治の難しさについて、私の少ない体験の中ではあっても何件かの事例を挙げて説明できるつもりです。また、基本的なことですが財政状況が非常に困難を極めている状況の中で、全体でやるか、個々に取り組みをするかと言ったところで、原資が変わるとは思えませんし、困難さを皆で分かち合おうという考えを持てるほどの魅力を見出せないのも事実です。
- ・難しそう。そもそも参加して何か意見が言えるかどうか・・・（仕組みとかよくわからない）
- ・面倒だと思ってしまう
- ・制定内容案についてHP等で意見を述べることはできますが、参加のために出向くほどにまとまった時間をとれないのが現状です。
- ・知識がないのに参加するのは失礼だと思うから。
- ・内容がよく分かっていないから
- ・参加する魅力がない